

地域	東京都台東区	認定日	平成18年10月27日	3-18-056
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	健康・福祉、IT	

事業名: 次世代PACS(\*1)の開発及び事業化 - 遠隔医療支援機能付PACSの事業化 -

**事業概要(新規性、市場性等)**

・医療現場におけるCT(\*2)やMRI(\*3)などの医用画像ファイルはデータ量が大きく、劣悪な通信環境では安定的な遠隔地送信が課題となっていたが、独自のViewSend技術によりこれを可能とし、異なるメーカー間の画像伝送にも対応可能とすることで汎用性を高めた。さらに離れた場所でも互いの顔を見て表示画面を図示したり、画像の一部分を拡大しながら相手に説明するテレビ会議機能を付加し、医師 医師、医師 放射線科専門医によるリアルタイムカンファレンスを実現した。

・機能的な電子カルテシステム及び3Dビューワを付加し医療機関へ低価格にて提供する。

- (\*1) PACS: 医用画像を保管、転送するシステムのこと (Picture Archiving and Communication System)
- (\*2) CT: コンピュータ断層撮影のこと (Computed Tomography)
- (\*3) MRI: 磁気共鳴画像法のこと (Magnetic Resonance Imaging)

**事業推進体制**

販売支援

A社  
B社  
C社  
D社

機能評価・アドバイス

E病院  
F医科大学

金融支援

みずほ銀行

**連携体の構成**

システム開発

コア企業: ViewSend(株)  
(東京都台東区)  
・遠隔医療支援システム開発

電子カルテ

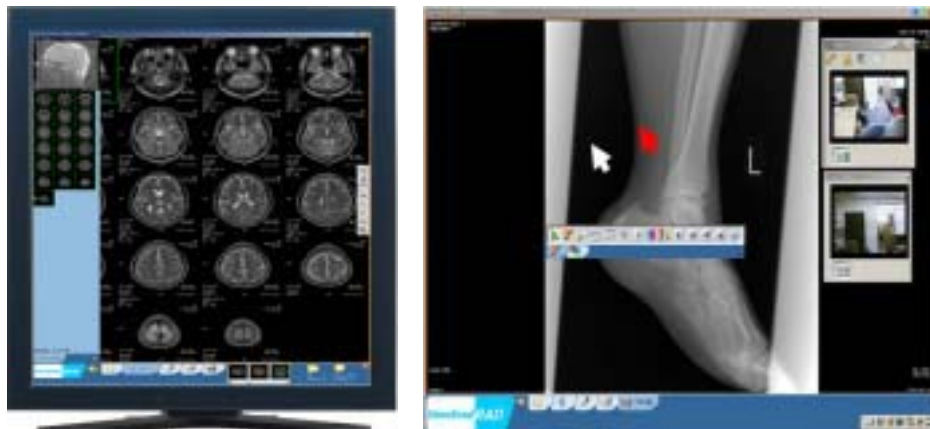
(株)京葉電子工業  
(東京都江戸川区)  
・電子カルテ技術提供  
・販売

3Dビューワ

(株)ケイ・ジー・ティー  
(東京都新宿区)  
・3Dビューワ開発

**支援予定メニュー**

補助金  
信用保証



遠隔医療システムイメージ

## 連携のきっかけ、特徴

- ・国内の医療現場ではCTやMRIの導入台数約1万4千台に対し、撮影された画像を専門の目で解析・診断(読影)する放射線科専門医は3800人しかおらず、IT化が望まれていたが、従来技術ではデータ量の大きい医用画像ファイルを安定的に遠隔地送信することが困難であった。
- ・本事業では独自技術により医用画像ファイルを安定的に遠隔地送信することを可能とし、リアルタイムカンファレンス機能を付加したシステムを開発したコア企業が、電子カルテなどの医療用ソフト開発に強みを持つ企業、医用画像の3D処理ソフト開発に強みを持つ企業に呼びかけて連携体を構築した。
- ・このシステムにより難しい症例の場合であっても、ひとつの症例に対して複数の専門家が離れた場所で圧縮しない現画像、電子カルテのデータを同時共有し検討することが可能となった。また今後は医療現場でニーズの高い3D画像の共有化を計画している。
- ・大手システム販売会社、大手リース会社の販売支援のもと病院、診療所向けに事業化を目指すとともに、病理専門医育成プログラムである臨床研修支援システムとして医科大学などのアドバイスをいただきながら、病理解剖報告書などにも運用展開する。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	View Send株式会社 ・ 嗣江 建栄	
所在地	東京都台東区東上野5-13-9	
創業	平成12年10月	
資本金・従業員数	2億9200万円	8名
業種	ソフトウェア業	
T E L	03-5827-2712	
F A X	03-5827-2718	
ホームページ	<a href="http://viewsend.jp">http://viewsend.jp</a>	
e - m a i l	<a href="mailto:vs_info@viewsend.jp">vs_info@viewsend.jp</a>	

## PR等その他の情報

- ・病院、診療所を販売ターゲットとしており、複数の医療機関と間もなく契約予定です。